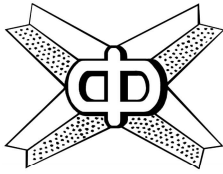


令和3年度 丸内中学校 学校だより NO.10



恕の心



令和3年11月1日 校長 廣瀬 真樹

丸内中学校文化祭 感謝感謝感謝！



「温かい気持ちをもらいました。ありがとう」と最後の講評でお話させてい
だきました。「笑顔や和やかな雰囲気、そしていろいろな場所で丸中生の輪が広が
る」そんな幸せな時間を過ごすことができました。





みんなで頑張れると笑顔になれます。和やかな空気が流れ、自然と輪ができます。今回のスローガンが本当に実感できた文化祭でした。そしてそこには一緒に頑張ってくれた、楽しんでくれた仲間があります。

「おかげさまで」という言葉が日本語にはあります。「陰」になってくれる人のおかげで頑張れた。そのことを感じる事ができれば、自然と感謝の気持ちがわきます。その心は思いやりの連鎖につながり、恕の心につながっていくのだと思います。

講評では1年2組の自由曲「大切なもの」についてもお話しさせていただきました。この曲の指す「大切なもの」とは何か・・・考え方はそれぞれですが、私は「人を思いやる気持ち」「他人や自分を大事にする心」なんじゃないかと思います。この文化祭のいろいろな場面でそんな瞬間を見ることができました。「ありがとう」「助かった」「がんばれ」・・・こんな言葉が学校中に満ちていました。

今回の文化祭で感じた思いや温かい気持ちをぜひ11月からのスタートに生かして行ってほしいと思います。生徒の皆さん、あらためて「感動をありがとうございました」